

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 22日

事業所名: 自立支援・放デイ グランアミスター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		個別・集団療育など各活動に合わせて、必要な十分なスペースの確保ができています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる配置数に加え、指導員を多く配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		利用者様に合わせて療育道具等を変えています。絵カードを提示しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		施設全体や玩具等全てに光触媒コーティングを施しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員ミーティングを定期的に行い、問題解決や業務改善に努めています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今後も定期的アンケート等を実施し、業務改善に努めて参ります。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当社HPにて公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価が行っていませんが、今後は外部評価を受けて業務改善に繋げていきたいと思ひます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修に参加したり、定期的社内研修を行うことで、問題解決や業務改善に努めています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		計画期間ごとにアセスメントを行い、客観的な指標に基づいて個別支援計画を作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化に沿った内容のツールを使用し、客観的な指標に基づいて個別支援計画を作成しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインに基づき、作成した児童発達支援計画書を説明し、保護者様にご確認して頂き、同意を頂いています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画期間ごとにアセスメントを取った上で職員間で共通認識のもとに個別支援計画を作成しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		セクションミーティングにて利用者様の事例を共有・議論するケース会議を行っています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月毎の目標を設定し、それに伴った活動の導入をしています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		その子どもの状況に応じた課題を設定し、個別・集団療育を取り入れて作成しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	○		療育に入る前に必ず本日の療育計画を共有するようにしています。	
	18	○		その日の療育の様子を必ず記録に残しています。また、改善点を話し合います。	
	19	○		その日の療育の様子を記録に残しています。また、改善点を話し合います。	
	20	○		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	○		児童発達管理責任者と、その子どもを最も理解している職員が参加しています。	
	22	○		今後も関係機関と連携を図りながら支援を行っていきます。	
	23		○	現在は医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの利用はありません。	
	24		○	現在は医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの利用はありません。	
	25	○		保護者様からの聞き取りや関係機関との支援会議にて情報共有をしながら相互理解に努めています。	
	26	○		保護者様からの聞き取りや関係機関との支援会議にて情報共有をしながら相互理解に努めています。	
	27	○		積極的に研修等へ参加出来るようにしています。	
	28	○		児童クラブの子ども達が長期休み利用時に一緒に交流を行う機会があります。	
	29		○		自立支援協議会への参加していませんが、地域の会や連絡協議会には積極的に参加しています。
	30	○		日々の療育終了後、その日の様子や連絡事項を連絡帳アプリにて保護者へ伝えています。	
	31		○		本年度より保護者会(VIDAサロン)にて、計画を立てて実施していきたいと思えます。
32	○		契約時に運営規定と利用者負担額等について、説明しております。		
33	○		ガイドラインに基づき、作成した児童発達支援計画書を説明し、保護者様にご確認して頂き、同意を頂いています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		常勤で公認心理師を配置しており日常で相談できる体制を整えています。必要であれば日を設けて相談を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		本年度より計画を立てて実施していきたいと思っています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時に苦情に関する窓口を案内し、適切な対応ができるように努めています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎日ブログの公開と月一回会報にて発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報に記載された書類は鍵付き書庫に保管し、廃棄書類はシュレッダーで処理をしています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		利用者様・保護者様の状態に応じて視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等に努めています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			この3年間はコロナ禍の為、難しい状況でしたが、今後は地域住民の皆様との交流の場を計画していきたいと思っています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを作成し、研修を定期的に行うようにしています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に災害についての話し、避難経路の確認をしています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		服薬、アレルギー、てんかん発作の有無に関しては確認しています。予防接種については今後検討していきます。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーの有無に関しては契約時に必ず確認しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットが発生した場合には、ヒヤリハットの報告書を作成し、職員間で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を行い、適切な対応をしています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		管理者、児童発達管理責任者の判断のもと、身体拘束の必要性をご家族と確認しています。計画書にも記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。